

2018-4-1
No.1019 250円

思想運動

活動家集団 思想運動

発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区本郷3の29の10 飯島ビル1階 ☎03-3818-6671 FAX03-3818-3199 (郵便振替)00190-0-758235
小川町企画・関西連絡先 ☎080-4700-6461
HP <http://www.shiso-undo.jp/>
購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)

われわれは労働者だ！ 職場に戻せ！
ユナイテッド航空に不当解雇撤回を求め、成田空港国際線チェックインカウンター前で抗議アピールするユナイテッド労働者と支援者(三月二十四日、関連記事四画)



「森友事件」の幕引きを許すな！

安倍政権を追い落とす大衆運動再生の鍵は

傲慢・不遜な安倍

「森友事件」をめぐる三月十七日の佐川宣寿氏の「証人喚問」では、真相は何も明らかにならなかった。翌日の国会で安倍首相は「職責をまっとうするのが自らの責任」「あとは国民が判断すること」と居直った。

安倍独裁こそ元凶

恵らの関与を隠ぺいするたため、そして「わたしも妻が関係していた」ということになれば、首相も国会議員も辞めるといふ安倍の答弁に公文書の内容を合わせるために、財務省官僚が公文書の改ざんを組織的に行なったものだ。安倍政権がその政治的代弁者をつとめるブルジョワ階級の間接的な利益追求は、人民の財産を剥奪する域に及ぶ。その腐れきった資本主義体制を維持するために、官僚組織体制が「自発的」に政権に滅私奉公する。この金儲け至上主義が、必然的にこの犯罪行為を産んだ。報道に接して「あいつらバカだな」と話し合う声を電車で、飲み屋で、耳に響かせる。たしかに、と思う。たしかに、そのバカどもが進める労働法制改悪や社会保障削減などの反人民政策と「森友事件」は表裏一体、わたしたちに対する攻撃なのだ。

困難を直視しつづ

「法治国家」の皮をかぶった体制内部の腐敗の進行に限りなく、安倍ブルジョワ体制がいかに犯罪者集団と化しているかが、市民団体の尽力により明らかになった。それを今、メディアがこぞ取り上げている。しかし、人民の利益と敵対する安倍政権の犯罪性は、すでにあらゆる分野で露呈してきていた。それをメディアは追及するどころか政権の支配に屈し、その太鼓持ちの役割を果たしてきたのだ。「安倍劇場」で「数字」がどれほどいいという腹が透けて見える。自民の幕引きととも「フェイクアウト」するであろうメディアに視界をゆがませられてはならない。

を保障する資本主義システムを少しでも長く延命させることだ。だからわたしたちは、ブルジョワのための独裁を否定することに闘いの照準を合わせる必要があるのだ。

歴史に学び突破口を切りひらこう！

「森友事件」は、本来であれば韓国のバクネゲートに匹敵する「火種」となる事件である。しかし、その火が燎原の火のように広がらない。その日本の現実をわたしたちは受け止めなければならない。八七年の国鉄民営化・国労解体から総評解体にいたった。その後、なだれをつつように新自由主義・戦争国家化がおしすすまられ現在に至るの。この数十年間の労働者階級の敗北——支配層と対峙しうる拠点をひとつひとつ破壊されてきたからこそなのだ。政府・独占資本は、総評や学生自治会の組織力の向こうに広がる労働者・学生の層を見つけたのである。労働者・学生が議論し協働することこそがこれからは脅威だった。だからこそ、長い年月をかけてこれをつぶしてきたのだ。

日本が敗戦後、GHQ占領政策の下、軍国主義者の公敵追放や超国家主義団体の解散等がなされ、労働者の団結権や婦人の平等の権利等の指令がなされた。しかし権利は、指しただけで人ひとの手にもたらされはしなかった。多くの人が戦後インフレによる物資不足・食糧難の飢餓線上に放り出される一方、占領政策の網の目をかいくぐり職場・学園・地域には依然として日本帝国主义の残滓・反動勢力が居座りつづけていた。それらと闘い、人ひとを声をあげてこまいで、自分たちのやがてのことでも管理できない状況のなかでは無意味……。他の職場も推して知るべし、現場に基礎をつくりたいないゆえに、一つの職場単位から一人、旗をもつてやと国会前に参加するという現状がある。

「法治国家」の皮をかぶった体制内部の腐敗の進行に限りなく、安倍ブルジョワ体制がいかに犯罪者集団と化しているかが、市民団体の尽力により明らかになった。それを今、メディアがこぞ取り上げている。しかし、人民の利益と敵対する安倍政権の犯罪性は、すでにあらゆる分野で露呈してきていた。それをメディアは追及するどころか政権の支配に屈し、その太鼓持ちの役割を果たしてきたのだ。「安倍劇場」で「数字」がどれほどいいという腹が透けて見える。自民の幕引きととも「フェイクアウト」するであろうメディアに視界をゆがませられてはならない。

この数十年間の労働者階級の敗北——支配層と対峙しうる拠点をひとつひとつ破壊されてきたからこそなのだ。政府・独占資本は、総評や学生自治会の組織力の向こうに広がる労働者・学生の層を見つけたのである。労働者・学生が議論し協働することこそがこれからは脅威だった。だからこそ、長い年月をかけてこれをつぶしてきたのだ。

「森友事件」は、安倍政権と日本会議、それに群がり追随する大阪維新などの右派勢力が主導し、財務省官僚がその手足となって人民の土地財産をくすね取ろうとした犯罪に端を発する。そして、安倍昭

資協主義がひろがり、七〇年代、低成長期から新自由主義政策への転換のなか職場・労働者への攻撃が強まり、労働運動の右傾化が加速した。そして七五年スト権ストの敗北を決定的な分水嶺として、八七年の国鉄民営化・国労解体から総評解体にいたった。その後、なだれをつつように新自由主義・戦争国家化がおしすすまられ現在に至るの。この数十年間の労働者階級の敗北——支配層と対峙しうる拠点をひとつひとつ破壊されてきたからこそなのだ。政府・独占資本は、総評や学生自治会の組織力の向こうに広がる労働者・学生の層を見つけたのである。労働者・学生が議論し協働することこそがこれからは脅威だった。だからこそ、長い年月をかけてこれをつぶしてきたのだ。

「森友事件」の本質
「森友事件」は、安倍政権と日本会議、それに群がり追随する大阪維新などの右派勢力が主導し、財務省官僚がその手足となって人民の土地財産をくすね取ろうとした犯罪に端を発する。そして、安倍昭

資協主義がひろがり、七〇年代、低成長期から新自由主義政策への転換のなか職場・労働者への攻撃が強まり、労働運動の右傾化が加速した。そして七五年スト権ストの敗北を決定的な分水嶺として、八七年の国鉄民営化・国労解体から総評解体にいたった。その後、なだれをつつように新自由主義・戦争国家化がおしすすまられ現在に至るの。この数十年間の労働者階級の敗北——支配層と対峙しうる拠点をひとつひとつ破壊されてきたからこそなのだ。政府・独占資本は、総評や学生自治会の組織力の向こうに広がる労働者・学生の層を見つけたのである。労働者・学生が議論し協働することこそがこれからは脅威だった。だからこそ、長い年月をかけてこれをつぶしてきたのだ。

【米丸かたね】